



発行：NPO法人みのお山麓保全委員会 2019年(令和元年)10・11・12月

## 箕面の森は、自然災害から 私たちの「いのちと暮らし」を守れるのでしょうか？



箕面川は、下流域に大阪のベッドタウンをかかえる一方、上流域には急峻な渓谷を形成しています。

このような地形や水系の条件により、昔から集中豪雨や台風による水害に悩まされてきました。

1967年(昭和42年)、北摂地域を襲った集中豪雨により、猪名川流域では、大小の河川が氾濫し、大きな被害を受けました。

これを機に治水対策が検討され、下流域への可能な限りの洪水調節を行うために、猪名川水系にある箕面川にダムが計画され1982年(昭和57年)に完成しました。

**防災、減災のために、ダムのような施設だけでなく、森林が持つ土砂の流出・崩壊の防止、水源かん養などの機能をうまく組み合わせ、補い合うことが有効な対策の一つとして期待されています。**

### 箕面の森では、たくさんの野鳥を観察することができます。

多くの野鳥は木の実を丸呑みにして食べますが、タネは消化されずに排出され、地面に落ちたタネは、やがて芽を出します。野鳥たちは、タネの散布を通じて、森を育てるのに役立っています。



ルリビタキ♂



ルリビタキ♀



ジョウビタキ♂



ジョウビタキ♀



メジロ



ヤマガラ



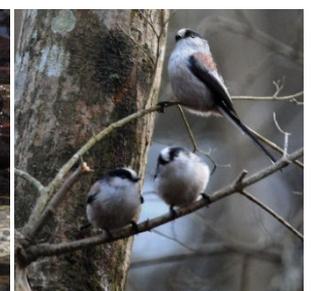
シジュウカラ



カワラヒワ



キセキレイ



エナガ

# 増えすぎたシカによる食害で 低下する生物多様性と森林の水源かん養機能

## 下層植生や森林更新への影響

箕面の山を歩いていると、下のような植物をよく見かけませんか？有毒物質を体内に持ったり、いやな匂いを出したり、鋭いトケで守ったりなど、シカに食べられないようにしています。これらは全てシカが嫌いな植物であり、このような植物が道沿いに多く見られる場合は、シカによる被害は深刻です。



マツカゼソウ



アセビ



タケニグサ



ウリハダカエデ



ジャケツイバラ



レモンエゴマ



ダンドポロギク



アカメガシワ



マムシグサ



ナンキンハゼ



ササが食べつくされ、シカが嫌いなアセビだけが目立つ鉢伏山の頂上

## 生物多様性の低下

シカの密度が増えすぎると、生息する動植物に大きな影響が出ます。シカが好きな植物が減ると、それを食べていた昆虫がエサを失い、数を減らします。

シカは落ち葉も食べるので、土壌が乾燥すると、土壌生物や昆虫や両生類、それを食べる鳥類や哺乳類など、森林にすむ多くの動物の生活に影響します。

## 水源かん養機能の低下

下層植生を食べつくし、落ち葉まで食べられてしまうと、土壌が露出し、急峻な地形であるほど、土壌は崩れて流されてしまいます。

降った雨を蓄えながら、浄化して少しずつ川に流すという、健全な森が持つ水源かん養機能が損なわれて、洪水を引き起こす原因にもなっています。

ダム集水区域や河川の上流に位置する水源の森、地域の用水源として重要なため池や溪流などの周辺にある森は、水源かん養の機能を維持する森林として整備及び保全する必要があります。

## 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会によるモニタリング調査

協議会を構成する行政(国・府・市など)と市民団体が意見や情報交換を通じて、増えすぎたシカの頭数管理の指標として活用する自動撮影カメラなどのモニタリング調査やシカの食害防止のためのネット設置などの「協働」の取り組みを行っています。

※下の写真は自動撮影カメラに写った動物たちです。



ニホンジカ♀



ニホンジカ♂



イノシシ



キツネ



アライグマ

# 12月8日(日)山とみどりのフェスティバル 災害に強い森づくりフォーラム

## 箕面の森は、自然災害から私たちの「いのちとくらし」を守れるのか？

日時:2019年(令和元年)12月8日(日) 13:30~15:45

場所:箕面文化・交流センター 8階大会議室(阪急箕面駅前) 定員:100名(申込順)

参加費  
無料

みどりのまちづくりが魅力の一つである箕面では豊かな自然環境を保全することが大切であり、森林が持つ持続可能な防災・減災機能を引き出し、活用することが重要です。

防災、減災のために、箕面川ダムのような人工構造物によるインフラ整備だけでなく、森林が持つさまざまな機能をうまく組み合わせ、お互いに補い合うことが、有効な対策の一つとして期待されています。

本フォーラムでは、地球温暖化による気候変動、近年多発する極端な気象現象などに対して、どのように適応していくのか？ 未来のために、今、私たちが箕面の森でできることを具体的に考えたいと思います。

### ■ 講演 ■

#### ●豊かな自然の恵みと災害の脅威、災害に強い箕面の森づくりを考える

・箕面の地形や自然植生、箕面の森の現状 ・災害に強い森づくりの取り組みについて

兵庫県立大学 名誉教授 兵庫県南但馬自然学校 校長 服部 保

### ■ 報告 ■

※予定

#### ●災害に強い森づくりと国有林の取り組みについて

～箕面国有林の現状と台風被害からの森林の再生～

#### ●「こもれびの森」における自然林の再生について

～風倒木対策事業の報告と今後の再生について～

#### ●山麓部での山林整備サポートの活動について

～民有林における山林所有者の悩みと市民が出来ること～

### ■ ディスカッション ■

箕面の森で、私たちができることを考える



※参加申込: メール又はFAXで、氏名・所属・連絡先を記入して、NPO山麓委員会にお送りください

## 森林が持つ公益的な機能を発揮させるためには・・・

防災・減災のためには、増えすぎたシカ害対策を行いながら、ダム周辺や河川の上流、ため池や溪流の上流などにあるスギ・ヒノキの人工林に着目した森林整備を行う必要があるのではないのでしょうか？



下層植生が貧弱なスギ・ヒノキ林

#### 箕面市の森林面積と民有林の人工林比率

森林面積は2,781ha。市域の約60%を占め、中央部には963haの明治の森箕面国定公園があり、民有林は2,205haです。

民有林での人工林面積は402ha。人工林率は約18%と小規模で、多くは急峻な地形に位置しており、林業経営には適していません。

#### 箕面国有林の人工林比率

箕面国有林の面積は590ha。全域が「明治の森箕面国定公園」「明治の森箕面自然休養林」に指定されています。中央部に治水のための箕面川ダムが位置しており、国有林におけるスギ・ヒノキなどの人工林率は約77%、面積は414haです。

#### 人工林に集中した台風による被害

台風による風倒木被害が大きかったのはスギ・ヒノキなどの人工林でした。箕面大滝北や清水谷などの国有林を中心に、こもれびの森(市有林)やウツギ谷(私有林)などで大きな被害を受けました。

#### 適切な森林管理を行うための財源

市町村が管理を行う財源として、森林環境譲与税(H36年からは森林環境税)が施行されており、箕面市の税収は、年間約600万円と試算されています。限られた財源ですが、どのような計画を作っていけばいいのでしょうか？



2018.9.台風21号による倒木被害

箕面市が中心となって、新たな森林整備計画を策定し、行政を含めた市民全体が、森林を地域社会全体の環境材としてとらえて、森林整備を支えていく必要があるでしょう。

## 「ゆずるWAON」は 箕面の山麓部の緑地、樹林の保全に役立てられます。

毎日のお買い物で、箕面の山の豊かなみどりを守る取り組みを元気にしよう！

「ゆずるWAON」は、全国どこで利用されても、利用金額の0.1%が、イオンから「箕面市みどり推進基金」に寄付されます。  
箕面の大切な財産である豊かなみどりを守り、育てる取り組みに役立てられる社会貢献の仕組みです。



電子マネーカード「ゆずるWAON」には、箕面市のキャラクター「滝ノ道(たきのみち)ゆずる」や「モミジーヌ」といっしょに、「日本の滝百選」にも選ばれている「箕面大滝」や箕面の山なみ景観がデザインされています。

「ゆずるWAON」を購入するには・・・

近畿地区のイオン・イオンスタイル、箕面市内のダイエー、マックスバリュ、KOHYOなどでお買い求めいただけます。※一部販売していない店舗があります。発行手数料は300円です。

※「ゆずるWAON」は、イオン、マックスバリュの他、ファミリーマートやローソンなど、多くのWAON加盟店でご利用できます。

## 山とみどりのフェスティバル

箕面の山とまちのみどり、みんなで守る！育てる！活かす！  
自然素材を使った工作や体験コーナーなど、子どもたちにも楽しんでいただける企画がいっぱい！



日時: 11月3日(日) 10時30分～15時30分  
場所: 箕面公園瀧安寺前広場  
滝道ふれあい広場・阪急箕面駅前ステージ

- 工作や体験コーナー
  - ・どんぐりなど自然素材を使った工作
  - ・竹ぼっくり体験・コースター作りなど
- みどりを守る活動紹介
  - ・里山の手入れ・自然とのふれあいなど

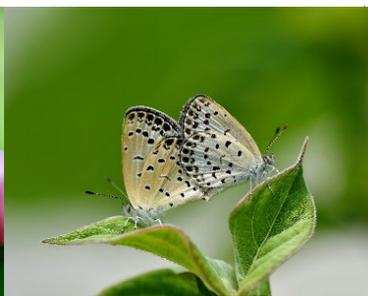
## 明治の森箕面国定公園 写真展

美しい箕面の四季、さまざまな植物や生き物たちの世界をお楽しみください！

日時: 11月26日(火)～30日(土) 10時～17時(最終日は16時まで)

場所: 箕面文化・交流センター 地下1階多目的室(阪急箕面駅前)

※山での活動紹介のコーナーもあります。



NPO法人 みのお山麓保全委員会  
〒562-0001 箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室  
電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615  
メール: yama-nami@yama-nami.net  
ホームページ: www.yama-nami.net(検索: 山なみネット)  
\* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

